

病害虫防除技術情報第 14 号

平成 24 年 9 月 10 日

三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウの今後の増加に注意し、早期防除に努めましょう

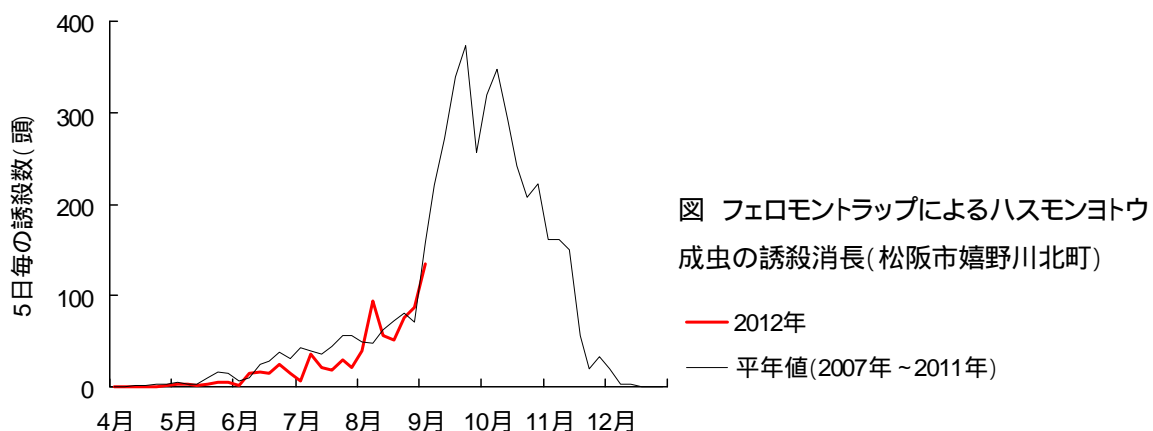
1. 対象作物：ダイズ・野菜類（イチゴ・アブラナ科野菜等）

2. 対象病害虫名：ハスモンヨトウ

3. 発生状況

1) 巡回調査（9月第2週）の結果、ダイズでは白変か所数 0.4 か所/a（平成 4.1 か所/a）、葉食害度 0.3（7年平均 5.2）でした。またイチゴ（苗床）では寄生株率 0.0%（平成 0.4%）と、現在の発生量は平年に比べて少ない状況です。

2) フェロモントラップ（8月第2半旬～9月第1半旬・松阪市嬉野川北町）では、成虫誘殺数は 499 頭（5年平均 494.0 頭）と平年並の傾向であり（図）、9月から10月にかけて発生盛期となりますので、今後、圃場での発生量が増加すると予想されます。



4. 防除対策

- 1) 圃場を見回り、白変葉の早期発見に努めてください。
- 2) 防除適期は若齢幼虫期です。摘葉や捕殺、薬剤防除は若齢幼虫が分散する前に行ってください。
- 3) 薬剤防除するときは葉裏にかかると、丁寧に散布してください。老齢幼虫に対しては防除効果が劣ります。
- 4) 野菜では、育苗中の苗床や定植直後に発生すると被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
- 5) 施設では、ハウスパイプや換気口周辺などの資材にも産卵するので、注意してください。
- 6) 薬剤防除を行う際は、周辺作物の栽培状況に留意し、周辺圃場へのドリフト防止に努めましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。